

【天祭一〇八 発足趣意】

「日本」が美術工芸及びのり文化は、列強や連年の土着信仰や習俗に由来し、古きものを伝承されてるが、一方で海を越えて伝わる新しいものを取り入れ「ハイブリッド・カルチャー」として唯一二の進化を遂げさせた。その独自の文化形成の過程において、ものづくりや表現の守護者として多大な存在意義を發揮してきたのが寺社仏教である。

二十一世紀の日本において、宗教と美術工芸・芸能文化は切り離され、それぞれに自立すべきものと考えられてきたが、私達の被る真に「豊か」な生活とは、はたして欧米的な効率・機能重視の発想やシステムで割り切れるものだろうか。「日本文化」への再評価と世界に向けての力強いアピールが叫ばれる中、自国の本物の文化と歴史に今一度目を向け、未来永劫に「日本」の美術工芸・芸能文化を發展させんがため、「燃るべき場所へ」と集うよう呼びかけた。

<Temari 108 Prospectus>

Japanese Arts, Crafts and Monozukuri culture is originated from Japanese native beliefs and customs. Its unique development owes to the inheritance of the tradition and also the adoption of foreign cultures, it is called "Hybrid Culture". Temples and shrines have played important roles as guardians of Monozukuri and expression of art. In this 21st Century Japan, people tend to think that the religion, arts and crafts and performing arts are all divided and independent from one another. But what is the definition of so-called "rich life" that we truly seek? Can we really have that kind of life quality out of ideas or systems of the West which put great value on efficiency or function? For the re-evaluation and strong appeal of Japanese culture, we would like to suggest to get together at a "certain place" where we can pay more attention to our own culture and history and develop Japan's own arts and crafts and performing arts from now on and forever.

【会期】

第三回「天祭一〇八」(平成26年・秋)

10月17日(金)・18日(土)・19日(日)

開催時間 11:00 - 19:00 (19日(日)は 18:00まで)

【Dates】The 3rd "Temari 108"(Autumn 2014)

October 17(Fri)&18(Sat)&19(Sun) 11:00-19:00 (last day: 18:00)

【会場】

浄土宗大本山・増上寺

『光摂殿』大広間 / 『増上寺会館』3階中広間ほか

【Venue】Daishonzen Zojji Temple / "O-hiroma"(The Big Hall) inside "Youshou-den", "Chu-hiroma"(The Middle Hall) in 3rd floor of "Zojji-Kaikan", etc.

「天祭一〇八」は、広く一般に開かれた「ものづくりの市」であると同時に、私達の生きる現代を象徴する作品を「増上寺現代コレクション」として選ぶための審査の場でもあります。

To gather Japan's own contemporary Arts & Crafts and Monozukuri(Craftsmanship), which is different from the major art stores and markets led by the West. To establish this as a "Festival" and a "Market" where people can encounter the contemporary Monozukuri of our time. To recover the spirit of the temple as the cultural center by gathering Japanese contemporary Monozukuri. To establish and run "Zojji Temple Contemporary Art Collection" which symbolizes our generation, including many different kinds of Japanese Arts & Crafts and Monozukuri. To connect the artists with the visitors, buyers, collectors, related business circles and media.

公式サイト www.temari108.jp

FACEBOOK www.facebook.com/temari108

Twitter TENSAL_108



浄土宗大本山 増上寺

〒105-0011 東京都港区芝公園4-7-35 TEL: 03-3432-1431 【無休】

★協力: 浄土宗大本山・増上寺、通信センター(談話社)★アロマ協力:

IFA 東京国際アロマセラピスト・小泉美里

◆ご来場には公共交通機関をご利用下さい。

「天祭一〇八」実行委員会★主催: 有限会社ニューロン(白自庵) (代表:石橋 善治) 〒107-0062 港区高島山2丁目17-14 TEL/FAX 03-3402-3021
★協力: 浄土宗大本山・増上寺、通信センター(談話社)★アロマ協力: IFA 東京国際アロマセラピスト・小泉美里
【増上寺現代コレクション審査員】
・山下節二(日本美術史家・評論家)・山本春彦(アートメディア/コレクター)
・山崎浩子(宇宙飛行士)・橋本浩子(日本橋三越本店・リビング/イヤー)
・藤久志(談話社)・通信センター(談話社)・吉田福太郎(大本山増上寺施設部総務課 課長)・小泉美里 (IFA 東京国際アロマセラピスト)
・石橋善治(白自庵) 有限会社ニューロン代表/「天祭一〇八」主催 他

【中広間】 激陶者集団「へうげ十作」出展室

Chu-Hiroma / Extreme Pottery Group from the courtesy of a popular comic, "Hyugyo-mono"



原案: 藤本 一穂 監修

やきもの茶の湯歴史漫画から飛び出す現代の陶師たちも集結!

月刊モーニング(談話社)にて大好評連載中の歴史大河漫画「へうげもの」(山田芳裕)が、三度「天祭一〇八」に強力に協力。武将茶人・吉田福太郎が主人公のやきものドラマ、徳川歴代将軍を駆りてきた長い歴史と田圃を持つ増上寺での「現代の作家」たちが熱戦の場に集結! スピンオフ企画「激陶者集団「へうげ十作」」の主力作家が参加、同作品の熟読者であるアーティストたちもコラボ作品を出展。

「サブカルチャー、創作、娯楽の立場から、「天祭」を大いに盛り上げ、ミキサー役になりたい!」(担当)

本展を通じ、「ものづくり」全体との係わりをさらに深める構えだ。



photo: ikuko hirose

【天祭一〇八 会場配置図】

TENSAL 108 floor map



11月21日(金)
発売予定!!
行本最新刊19

【楓の間】 酒器道楽 feat. 陶芸家・津田友子 with「へうげ十作」powered by 富士電

Kaede no ma / "SHUJI DOGAKU" feat. ceramic artist TSUDA Tomoko with "Hyugyo-juusaku", powered by FUJITA



日本酒と作家の熱意を伝える酒器作家・佐々木津郎による、三日間限定の「酒器道楽」特別展。酒造らつらとは、天祭でもお馴染みの陶芸家・津田友子を中心に、漫画「へうげもの」のスピノフとして活躍する激陶者集団「へうげ十作」からも提供。日本酒は作り手や表現者の思いを大切にするメディアとして活躍する「富士電」がセレクト。さらに「へうげもの」コラボレートして談話の美酒(虎ノ門)文芸及文芸界かつ個性的なランナップを予定。【日本酒有料試飲 / 作家の酒肴の展示販売】



【柏の間】 トウキョウスターマニアクラブ

Kashiwa no ma / TOKYO STARBURNER exhibition



アーティスト、雑誌、メディア関係者等に所属が、古来より仏教と日本人が目指した「空なる宇宙観」を現出させる。【作品展示・販売】
出演作家: こうづなば、伊藤由晃、神戶博喜、秋葉美智(アッシュラコーポ)、静
●トークイベント「地球の中の宇宙」
日時: 10/17(金) 15:00 ~ 16:30 会場: 増上寺会館 2階「桜の間」(入場無料)
出演: 山崎浩子(宇宙飛行士)、後藤健二(国際ジャーナリスト)、こうづなば (COSMOSアーティスト)



【菊の間】 月曜美術倶楽部

Kiku no ma / Monday Art Club exhibition



アートと酒を楽しむアートシーンを中心に始められた大人の部活動。グラフィティ、アニメーションなど様々なジャンルのアーティストが「菊」をテーマにした作品を制作。【作品展示・販売】
出演作家: BAKIBAKI, HOUJO IMAE, IMOAE, KOKU, MOJYUSKEI, TENG AONE, TOKIYA SAKBA, ZONZAI, まちだとし、丸岡和音, 山田英樹, 赤松トビノ ...and more



【柳の間】 癒し茶会「産茶」powered by 茶通 【予約・問合せ】tajima@chatsujo.jp

Yanagi no ma / Tea Ceremony "Ecstasy" powered by CHAUSUJI

中国・台湾茶専門店「茶通」の店長タチが、激陶者集団「へうげ十作」の茶器を揃し、身心もへうげする癒しの茶会を開催する。中国茶とアーティストとのコラボレーション、さらにはフランスとの連帯なコラボレーションによって、癒の道から先で「月夜」が盛り上がる茶会。タイムングによっては500円を超える飲みほしも行う。協力: 小泉美里 (IFA 東京国際アロマセラピスト)
【全】全曜日 11:00開場、日曜日は4回開場
①11:00 ~ 12:00 ②13:00 ~ 14:00 ③14:30 ~ 15:30 ④16:30 ~ 17:30 ⑤18:00 ~ 19:00
中国茶4種、お茶器2種、オリジナルブレンドのフランクフルト
開催時間: 1時間 料: 1名様2,500円(税込) 飲み5名(予約制)



【桐の間】 『増上寺現代コレクション』審査室

Kiri no ma / "Zojji Temple Contemporary Art & Craft Collection" selection room



第三回のクラブからは
どの作品に? *